

平成29年度 施策評価シート（平成28年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち  
 施策 02 循環型社会の形成  
 主管課： 生活環境課  
 関係課：

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民，市内事業者	意図（どのような状態にしたいのか） 市内から排出される廃棄物の量が抑制されたまちをつくる。
------------------------------	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

常総環境センターへのごみの搬入量（1人1日当たり換算）						(g)	生活環境課
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)		
737.00	735.00	732.00	744.00	684.00	667.00		
向上指針	下がると良い	（状況）常総環境センターへのごみの搬入量（1人1日当たり換算）は、平成24年度以降減少傾向にあり、28年度は前年度比で3g（0.4%減）減少しました。 （原因）28年度の事業系可燃ごみが3,902tと前年度比で124t（3.2%増）増加したものの、家庭系ごみの搬入量は13,625tと前年度比ではほぼ同程度であり、人口も増加していることから、1人当たりの搬入量は減少しています。 ※再積算により基準値を修正しています。					
対前年度	向上						
目標達成度	低						
次年度課題	課題とする						

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H26年度 決算	H27年度 決算	H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込
事業費合計	432,381	497,408	590,965	613,112	633,429
人件費	0	0	15,683	0	0
トータルコスト	432,381	497,408	606,648	613,112	633,429

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
01 ごみの減量化	向上	低下			815	683	1,135	6,707	6,707
02 再資源化への取組	低下	横ば			5,089	4,922	4,545	0	0
03 廃棄物の適正処理	横ば	向上			426,355	491,635	585,200	605,883	626,200
99 施策の総合推進					122	168	85	522	522

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

ごみの減量や再資源化といった5種16分別による排出がもたらす効果について、転入者等へのリーフレット配付や市政情報モニターの活用などにより周知し、分別の徹底を促していきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

これまでごみの減量に向けて主にウェートを置いて取り組んできたのが、可燃ごみの重量比で約40%を占める生ごみ減量化でした。この取組に加え、更にごみの排出量削減に向けて課題となるのが、事業系ごみの削減と古紙類の資源化推進であると考えます。 事業者の理解を得る取組や古紙類分別に向けた取組を改めて検討していきます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

再資源化に結び付く5種16分別による排出について、多様な媒体を活用して周知を図り、ごみの減量につなげていきます。 また、事業者に対しては、古紙類の再資源化等によるごみの減量に理解を得られるよう周知に努めます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持